

ルーフトン4F 高反射(遮熱)



◆ **系統**

高反射(遮熱)ふっ素樹脂塗料

◆ **特長**

4ふっ化ふっ素樹脂が長期にわたり、美しい外観を維持します。
遮熱効果にすぐれています。
肉やせが少なく、肉もち感にすぐれた外観です。

◆ **用途**

屋根・カラー鋼板の塗り替え

◆ **色(受注生産)**

赤錆・コーヒーブラウン・ナイトブルー・ブラック
ダークグレー

◆ **容量**

16kg セット(主剤14kg 硬化剤2kg)

◆ **ポットライフ**

5時間(23℃)

◆ **標準塗付量**

120~150g/m²

◆ **乾燥時間**

	5	20	30
指触乾燥(分)	40	20	12
硬化乾燥(時間)	6	3	1
塗装間隔(時間以上)	24	16	16

◆ **使用できる主な下塗り塗料**

エトン2300NB

◆ **塗料性状(赤錆)**

密度 (g/cm ³ /23℃)	混合物 1.33 (主剤 1.38 硬化剤 1.04)	
加熱残分(%)	混合物 68 (主剤 69 硬化剤 60)	
引火点(℃)	主剤 25	硬化剤 24
発火点(℃)	主剤 370	硬化剤 370
危険物区分	主剤 第四類第二石油類	硬化剤 第四類第二石油類
有機溶剤区分	主剤 第二種有機溶剤等	硬化剤 第二種有機溶剤等
有害物表示	主剤 酢酸ブチル	硬化剤 酢酸ブチル・イソシアネート
毒物及び劇物表示	なし	なし

◆ **試験成績表(赤錆)**

項目	試験条件	結果
容器の中での状態	かき混ぜたとき、硬い塊がなくて一様になるものとする。	合格
塗装作業性	はけ塗りで塗装作業に支障があってはならない。	合格
塗膜の外観	塗膜の外観が正常であるものとする	合格
鏡面光沢度(60度)	70以上	78
重ね塗り適合性	重ね塗りに支障があってはならない。	合格
促進耐候性 (キセノンランプ法)	通算 2000 時間照射で、膨れ・割れ及びはがれの等級は0であり、色の変化が大きくなり、光沢保持率が80%以上のこと。	合格
屋外暴露耐候性	2年間の試験で、膨れ・はがれ及び割れがなく、色とつやの変化の程度が見本品に比べて大きくなり、白亜化の等級は3以下とする。	合格

◆ 標準塗装仕様書 (塗り替え)

工程	塗料名	塗装方法	希釈率 (質量%)	塗分量 (g/m ²)	乾燥膜厚 (μm)	塗装間隔 (時間以上)
1	素地調整	下地塗膜はサンダー、ワイヤーホイルなどで入念に取り除いたのち、全面にわたってサンドペーパー、スコッチブライト、ワイヤーブラシなどで、丁寧にこすって、ごみ・汚れ・油分などを除去し清掃してください。				
2	補修塗り	下塗り塗料で発錆部を拾い塗りしてください。				
3	下塗り	エトン2300NB 主剤 85:硬化剤 15 ポットライフ 10 時間	はけ・ローラー エアレス (専用シンナー)	0 ~ 5 5 ~ 15	260 320	80 16 (15 日以内)
4	上塗り	ルーフトン4F 高反射(遮熱) 主剤 7:硬化剤 1 ポットライフ 5 時間	はけ・ローラー エアレス (専用シンナー)	5 ~ 15 10 ~ 20	120 150	25 6 (7 日以内)
5	上塗り	ルーフトン4F 高反射(遮熱) 主剤 7:硬化剤 1 ポットライフ 5 時間	はけ・ローラー エアレス (専用シンナー)	5 ~ 15 10 ~ 20	120 150	25

施工上の注意

1. 施工時は、飛散防止のための養生を行ってください。特にエアレス塗装の場合は、塗料ミストが広範囲に飛散するおそれがありますので、十分な養生を行ってください。
2. トタンの継ぎ目・折り曲げ部分は膜厚が薄くなる可能性がありますので、あらかじめ拾い塗りを行うことをおすすめします。
3. 塗装後、塗膜が未乾燥時に霧・夜露に当たる時間帯や、昼夜の温度差が大きい時期は、結露によるつや引け現象が起りやすいため時間を考慮した施工を行ってください。
4. トタン板などで垂鉛めっきの目付け量によっては、下塗り塗料との密着が悪い場合があります。
5. 混合比率を守り、よく攪拌してから使用してください。また、ポットライフ以内に使い切ってください。
6. 必ず専用硬化剤を使用してください。他の硬化剤を使用すると、本来の仕上がり感・塗膜性能が発揮できません。

取扱い及び保管上の注意

1. 取扱い作業場所は火気のないところでを行い、屋内作業場所では局所排気装置を設けてください。
2. 塗装中、作業中ともに換気をよくし、蒸気を吸い込まないようにしてください。
3. 取扱い中は、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて、有機ガス用防毒マスクをつけ、さらに頭巾・保護メガネ・えり巻きタオル・保護手袋などをしてください。
4. 取扱い後は、手洗い及びうがいを十分に行ってください。
5. よくフタをし、40℃以下で子どもの手の届かない一定の場所に保管してください。
6. 缶の持ち運びの際には、手環はグリップ部を正しく持ち、垂直に持ち上げる様に取り扱ってください。
7. 容器を切って使用する場合は、手を切る恐れがありますので保護手袋などを使用してください。
8. 本来の用途以外には使用しないでください。
9. 容器は中身を使い切ってから破棄してください。
10. 降雨や結露で表面がぬれている場合は、乾燥するまで塗装は避けてください。また、塗装後数時間以内に降雨や結露のおそれがある場合も塗装を避けてください。

緊急時及び応急処置

1. 容器からこぼれた場合には、砂などを散布した後処理してください。また、容器などに付着した塗料はウエスなどで拭き取り、破棄してください。
2. 皮膚に付着した場合は、多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化のあるときは医師の診察を受けてください。
3. 蒸気・ガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
4. 目に入った場合は、多量の水で洗い、また誤って飲み込んだ場合は、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
5. 火災には、炭酸ガス・泡・粉末消火器を用いてください。

廃棄上の注意

1. 廃塗料・塗料カス・廃溶剤・容器などの廃棄物は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」などの定めに基づいた処理業者に委託してください。

詳細な内容が必要なときは、製品安全データシート(MSDS)をご覧ください。

特約店



本社	〒661-0001	尼崎市塚口本町二丁目41番1号	06-6421-6325(代)
営業所	仙台	024-959-4777	北日本 024-959-4777(代)
	東京	03-5661-1501(代)	金沢 076-231-1907
	浜松	053-412-1000	大阪 06-6421-6363(代)
	名古屋	052-501-8211(代)	広島 082-293-6868(代)
	九州	092-541-3461(代)	

ホームページアドレス <http://www.kawakami-paint.co.jp/> 1101.C.1.S